

しんがたころなういるす びえーふあいぶ
新型コロナウイルス(BA.5)が

ひろ ふせ
広がることを防ぐためにすること

ねん がつ にち
2022年8月26日

きょうとふ
京都府

新型コロナウイルス(BA.5)が広がることを防ぐためにすること

おみくろん株BA.5 <=新型コロナウイルスの種類の一つ>にかかる人がまだ多いです。

そのため、病院で病気の人を治すことがとても難しくなっています。

必要なときに病院で病気を治すことができるように「新型コロナウイルス(BA.5)が広がることを防ぐためにすること」を続けます。

一人ひとりが「自分が病気になる」、「ほかの人に病気をうつさない」、「病気をひらげない」ことに注意して行動してください。

期間：2022年9月30日まで

※新型コロナウイルスの広がりにより期間が変わることがあります。

I 一人ひとりが病気になるためにすること

1 いつも気をつけること

- こまめに部屋の空気を外に出したり外から空気を入してください。
- 飲んだり食べたりするときも含めて会話をするときはマスクをしてください。
- 身体の調子に不安があるときは、家族を含めてできるだけ外に出ないでください。

(1) 自分が病気になるために

- ・正しくマスクをつける・手を洗う・いろいろな場所に置いてある消毒を使う・部屋の空気を外に出したり外から入れたりする。
- ・「三つの密<=空気が出たり入ったりしない場所・多くの人が集まる場所・人との間が近い場所>」になるところへは行かないでください。人と人との間をひろくする。大きな声で話さない。
- ・旅行や帰省<=家族や友だちに会いに行くこと>をするとき・多くの人が集まる場所へ行くときは気をつけて病気になるための行動をしてください。

(2) ほかの人に病気をうつさないために

- ・毎朝熱がないか体の温度を計って熱や咳があるときには病院などに相談してください。
- ・年をとった人・病気がある人・周りに年をとった人や病気の人がいる人は病気がうつりやすい場所に行かないように気をつけてください。
- ・会社や仕事で病気に気をつけながら働くことができるようにしてください。
- ・年をとった人・病気がある人・家に年をとった人や病気の人がいる人
→家で仕事ができるようにしたり、仕事に来る時間を変えるなど
- ・帰省などで年をとった人・病気がある人と会うときは、できるだけ会う前に検査をしてください。

(3) 病気をひろげないために

○会社などでひろげないために

・多くの人に会わないようにするために家で仕事をする・会社に行く日や時間を変える・

自転車などで行くようにしてください。

・働く人が会社に来たときに熱がないか確かめてください。働く人やその家族に熱や咳がある

ときは仕事に来ないようにして病院に相談してください。

・会社の中で仕事をする部屋だけでなく食堂・休憩をする部屋・服を着替える部屋・タバコを

吸うところでも病気がひろがらないよう気をつけてください。

・国の法律(特措法第24条9項)のお願い。仕事の種類に合わせた病気をひろげないため

のルールを守ってください。

○学校・保育所などでひろげないために

・新しい学期が始まります。学校生活や行事<=イベント>が中止にならないためにも

学校・保育所などで病気をひろげないためのルールを守って生活や送り迎えをしてください。

・クラスなどで新型コロナウイルスの広がりがなくても毎朝子どもが熱がないか体の温度を

計ってください。家族や子どもに熱や咳があるときは学校や保育所へ行かないでください。

・学校などが休みのときでも病気になりやすい行動はしないでください。

○大学などでひろげないために

・新しい学期に安心して学生生活を送るために学校や寮などでは病気をひろげない

ためのルールを守って生活をしてください。

・毎朝体の温度を計って身体の調子に気をつけてください。家族や子どもに熱や咳

があるときは学校へ行かないでください。

・飲んだり食べたりするとき：話をするときはマスクをしましょう。大きな声で話をしないように

しましょう。長い時間いないようにしましょう。病気をひろげないために決められたルールを守って

ください。

○病院・高齢者施設<=年をとった人が世話をしてもらいながら住む場所>でひろげないために

・病院や高齢者施設で病気をひろげないために決められたルールを守ってください。

・高齢者施設で病気がひろがらないように働く人は検査をしてください。

○自宅^{じたく}で治療^{ちりょう}する人^{ひと}や病気^{びょうき}になった人^{ひと}の近く^{ちか}にいた人^{ひと}は

・自宅^{じたく}で治療^{ちりょう}するときは外^{そと}に出ない^でください。同じ家^{おなじいえ}に住む人^{すひと}がいるときは生活^{せいかつ}する空間^{くうかん}をできる限り^{かぎり}分けて^わください。

・病気^{びょうき}になった人^{ひと}の近く^{ちか}にいた人^{ひと}や同じ家^{おなじいえ}に住む人^{すひと}が病気^{びょうき}になった人^{ひと}は病気^{びょうき}になっている可能性^{かのうせい}が高い^{たか}です。急ぐ用事^{いそようじ}がないときは家^{いえ}の外^{そと}に出ない^でようにしてください。

2 建物^{たてもの}の中^{なか}でウイルス^{ういるす}が入^{はい}ったエアロゾル^{えあろぞる}<=空気中^{くうきちゆう}を飛^とんでいる小さいもの^{ちい}>を吸^すって病気^{びょうき}に移^{うつ}らないためにしっかり部屋^{へや}の空気^{くうき}を外^{そと}に出^だしたり外^{そと}から空気^{くうき}を入^いれてください。

・エアコン^{えあこん}を使^{つか}っているときも「窓^{まど}を開^あける」「扇風機^{せんぷうき}<=風^{かぜ}を送^{おく}る機械^{きかい}>と換気扇^{かんきせん}<部屋^{へや}から空気^{くうき}を追い出すファン^{ふあん}>を使^{つか}う」など、

こまめに部屋^{へや}の空気^{くうき}を外^{そと}に出^だしたり外^{そと}から空気^{くうき}を入^いれてください。

<二酸化炭素^{にさんかたんそ}をはかるものがあるときは、1,000ppmより少ない^{びびえ-む}ようにしてください>

・家^{いえ}や会社^{かいしゃ}での会議^{かいぎ}などで同じ場所^{おなじばしょ}に長^{なが}くいる時は病気^{びょうき}に移^{うつ}る可能性^{かのうせい}が高^{たか}まります。部屋^{へや}の空気^{くうき}を外^{そと}に出^だしたり外^{そと}から空気^{くうき}を入^いれることに注意^{ちゆうい}してください。

・特に高齢者施設^{とくこうれいしやしせつ}、学校^{がっこう}、保育所^{ほいくじょ}などでは空気^{くうき}の入り口^{いりぐち}と出口^{でぐち}を作^{つく}って空気^{くうき}がよく流^{なが}れるようにしてください。

・子ども^こたちが多^{おほ}く集^{あつ}まるところでは周り^{まわ}の大人^{おとな}が空気^{くうき}の出^だし入^いれをしっかりと病^{びょうき}気を広^{ひろ}げないように気^きをつけてください。

3 正^{ただ}しくマスク^{ますく}をしましよ

・建物^{たてもの}の外^{そと}でも人^{ひと}との間^{あいだ}が狭^{せま}い(2 m 以下)場所^{めーとるい か ばしょ}で会話^{かいわ}をするときはマスク^{ますく}をしましよ

・建物^{たてもの}の中^{なか}でも人^{ひと}との間^{あいだ}が広^{ひろ}いとき(2 m 以上)や会話^{かいわ}をほとんどしない場所^{めーとるいじょう かいわ}はマスク^{ますく}の必要^{ひつよう}はありません

4 の飲^のんだり食^たべたりする^{する}ときの病^{びょうき}気をひろげないための取^とり組^くみ

の飲^のんだり食^たべたりする^{する}ときには

・病^{びょうき}気をひろげないためのルール^{るーる}を守^{まも}っている店^{みせ}(認^{にんしやうてん}証^{じやう}店^{てん}※)を利^り用^{よう}しましよ。

・話^{はなし}をするときはマスク^{ますく}をしましよ。店^{みせ}では大^{おお}きな声^{こゑ}で話^{はなし}をしなようにしましよ。

・席^{せき}と席^{せき}の間^{あいだ}を広^{ひろ}くしましよ。店^{みせ}に長^{なが}い時間^{じかん}いなようにしましよ。

※認^{にんしやうてん}証^{じやう}店^{てん} : 京^{きやう}都^と府^ふが決^きめたルール^{るーる}を守^{まも}っている店^{みせ}

(アクリル板^{あくりるばん}を置^おく・店^{みせ}の中^{なか}の空^{くうき}気^だを出^{そと}して外^{くうき}から空^い気^いを入^いれることなど)

5 会社の活動を続けましょう

会社の活動を続けるために症状がある人は休んでください。

家で仕事ができるようにしたり仕事に来る時間を変えるなど多くの人が会わないようにしてください。

II ホール<=大きな会場>などで行事<=イベント>をするときについて

入口で多くの人が会わないようにするなど仕事の種類にあわせた病気を広げないためのルールをしっかりと守ってください。

III ワクチンを打ってください

・ワクチン接種をしたい人はできるだけ打ってください。

・ワクチン接種をしたい人(学校に行っている子どもも受けることができます)が行けるように会社や学校は協力してください。

・60歳以上の人や病気がある人は病気がひどくならないように4回目のワクチン接種を受けてください。

・現在のワクチンはオミクロン株BA.5 <=新型コロナウイルスの種類の一つ>にも効きます。
しかし時間が経つとワクチンの力が弱くなります。まだ3回目・4回目のワクチンを打っていない人は新しいワクチンを待たないで早めに接種をしてください。

IV 検査を受けてください

・病気が移ることに不安を感じる症状がない人は無料の検査を受けてください

(国の法律(特措法第24条第9項)によるお願い)

・症状が軽くて病気がひどくなる可能性が低い人はできるだけ病院に行く代わりに病院などで配る検査キットを使って検査してください。

V 救急車は本当に必要なときにだけ呼んでください

・救急外来<=病院で早く治さないと危ない患者をみるところ>と救急車はこのままでは症状が危ないときなど本当に必要なときだけ利用してください。

・救急車を呼ぶかどうか迷ったときは#7119をできるだけ使ってください。